

企業情報

NPO法人文法器普及会			
所在地	神奈川県小田原市		
ホームページURL	http://bunpouki.com		
設立年	2012年	業種	教育
従業員数	2人	資本金	万円

企業概要

当会は、語学を学ぶ者及び指導者に対して、学習時間の短縮を図り、文法について正確に理解を深め、学習効率の向上に寄与することを目的とすることができる教習具「文法器」を使った学習方法の普及に努めています。



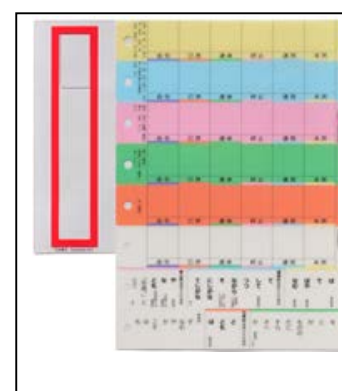
自社の強み

平成6年度ウチダ全国教職員発明考案コンクールにおいて、当該年度最高賞の「努力賞」を受賞した教習具に改良を重ねて平成24年に教習具「文法器」の意匠登録を取得いたしました。この教具は、習熟するまで多くの時間がかかっていた古典文法の接続関係をビジュアル化し、短時間でわかりやすく理解できますので、生み出された時間を有効に使うことができます。



一押し商品

生徒用「文法器ミニチュア」。縦26.25mm横148mm、厚さ300ミクロンのポリエステル樹脂製のシートからなるプレート8枚と縦52.5mm横148mm、厚さ300ミクロンのポリエステル樹脂製からなるガイド枠で構成されています。活用形欄と活用を記入する空欄と主な助動詞と助詞の印刷を施し、生徒個人個人が自分で書き込み、自分で動かし、自分で答え、その答えの正誤を自分で確かめられ、自己学習できる機能を備えさせました。この教具があれば、指導者に尋ねなくても、古典文法の接続関係について自己自習ができます。さらに、短歌・俳句などを文語で表現したい学習者が、自分の書いた文語が古典文法で正しい接続なのかどうかを確かめられる機能も備えています。東京都内中高一貫校から受注しております。amazonにも出品し、全国からの注文を受けております。Youtubeに18編の動画を投稿し、普及に努めています。



窓口活用のきっかけ

同会は当初文法器の教室版を考案し、その特許及び意匠の権利化を目的として来られました。平塚の外部窓口を活用して権利化の相談を始めました。

最初の相談概要

同会は古文における文法上のつながりについて教育上のツールとして考え、その権利化の可能性について相談に来られました。内容は特許又は意匠での権利化についてです。

その後の相談概要

文法器について説明資料及びWEBでの操作による勉強方法（教室での教え方を含む）に関するツールとしてとらえ、どのような形での権利化が可能か議論を重ねました。その後、商標の取得、意匠としての権利化、教室用及び個人学習用の文法器としてアイデアが発展し、最終的には教室用よりも個人用に特化した販売の方が可能性が高いと考えるようになりました。

窓口を活用して変わったところ

当初は権利化を望む商品として「教室用（大型）」を主として考えていましたが、個人で自分の机の上で使える「個人用（小型）」に行き着き、その商品についても議論を重ねて商品としての具体化をはかりました。窓口を活用して、議論を重ねることにより、より具体的な商品構成となったと思います。また、特許及び意匠出願中である点をアピールポイントとすることにより、商品の受注につなげることが出来ました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口担当者に支援していただくときに、遠慮なく「特許用語」の内容が理解できるように説明を求め、よりよい出願書を自ら作成することを心がける必要があります。「特許用語」については、最初は難しそうですが、説明していただければ、理解できるようになります。

窓口担当者から一言（氏名：広島 政広）



同会は日本の教育において古文のつながり（文法）を教室で教えたり、個人で勉強する際のツールを提供することにより、勉強時になかなか理解できない文法上のつながりを文法器ミニチュアの操作により自己学習できるという素晴らしい商品です。中高生の古文学習に活用してもらおうよう働きかけが大事です。